

筆のさんば道

人が増えて来るのもこの気節特長だ。あつちで乗つてもこつちへ行つて見ても乗物という乗物は人又人である。

日本人は元来公徳心に欠けていと悪夢の様だ。所でよい気候になり、旅をする人が増えて来るのもこの気節特長だ。あつちで乗つてもこつちへ行つて見ても乗物という乗物は人又人である。

まつたく申分の人の毎日の生活の縮図の様なも

と悪夢の様だ。ど今考えて見る

冬の間の吹雪な「乗物にのる時は我らにのらず見てもだめだと思ふ。毎日の家庭

に、年老いた人には席をゆずつて

が乗物の中だけで席をゆずつたり

はしないし、そんな心も起つて來らもう一度じつくり考へて、明る

い社会の建設に進みたいものだ。

今更の様に家庭生活といふもの

の重大さを痛感し、親は親として

子は子として、それの立場か

だと思ふ。でも、始めて公の場に出た時、行おうと思わなくとも自然

に美しい行いが出来る様になるの

だと思ふ。でも、始めて公の場に出た時、行おうと思わなくとも自然

に美しい行いが出来る様になるの

だと思ふ。でも、始めて公の場に出た時、行おうと思わなくとも自然

に美しい行いが出来る様になるの

だと思ふ。でも、始めて公の場に出た時、行おうと思わなくとも自然

に美しい行いが出来る様になるの

だと思ふ。でも、始めて公の場に出た時、行おうと思わなくとも自然

に美しい行いが出来る様になるの

だと思ふ。でも、始めて公の場に出た時、行おうと思わなくとも自然

に美しい行いが出来る様になるの

狙われやすい農繁期

戸締りと押売りに注意!

いよいよ農繁期がやつて来ました。農家の皆さんにはせわしい毎日を過ごしていることと思います。このよくななとき、つい忙しさのあまり、あるいは戸の疲れから戸締りを外に投げ出していたために、泥棒に盗まれたようなことがたくさんありますから、次のように注意して忙がしい中にも明るい日々を過ごしていただきたいと思います。

一、空巢ねらいを防止するには、一家そろつて田畑に出ることが多いと思いますから老人や子供の居るところでは、なるべく留守番をしてもらうことです。留守番をおけないときは戸締りに十分気を配り一見して留守宅とわからぬようにすることです。また戸の疲れから戸締りなどおたいと思います。

二、押売りを防止するには、

農繁期には老人や子供だけで留守番をしているのにつけ込み、

押売りが多くなりますから、これ

を防止するには、最初から

らないとはつきり断り相手にな

らないことが大切です。そして

品物を手にとつてみたり、値段

を聞くなどしないようになります。それでも帰らないときは隣り近所や近くのところに勤

いでいる人達に連絡して大せい

の力で撃退するとか、近くの駐

在所や警察署にいち早く届ける

ことです。

春に多い交通事故を防ごう

春に多い交通事故を防ごう

三、その他

農繁期には忙しさにとりまぎれ、とかく子供から目をはなし

て、とえ忙しくとも一

日一回は子供と話合う時間を

勝ちです。たとえ忙しくとも一

日一回は子供と話合う時間を

勝ちです